



そのお金はどこから入ってくるの？

- **市債（借金）：17億3,720万円減**
普通建設事業費の減少により、前年度に比べ減額
- **繰入金（貯金取崩）：2億275万円増**
収支調整分としての財政調整基金繰入金の増などにより前年度に比べ増額

地方交付税	73億2,900万円 (34.4%)	自治体が標準的な行政サービスを行うために国から配分されるもの
市税	33億 350万円 (15.5%)	市民税・固定資産税・軽自動車税など
繰入金	26億9,174万円 (12.6%)	収支の調整や特定の事業の財源として基金から取りくずすもの
国庫支出金	20億8,938万円 (9.8%)	特定の事業の財源として、国・県が自治体に交付する補助金など
県支出金	18億9,710万円 (8.9%)	
市債	17億9,070万円 (8.4%)	施設の建設や土木工事の経費等を、金融機関などから借り入れるもの
使用料・手数料等	11億1,496万円 (5.3%)	市営住宅家賃や公共施設の利用料、証明書発行手数料など
地方譲与税等各種交付金	10億9,101万円 (5.1%)	国・県が徴収した特定の税収を一定の基準で自治体に交付するもので、地方消費税交付金など

■ **依存財源：66.6%** ■ **自主財源：33.4%**

特別会計 84億2,395万円 特定の収入で支出を賄っているもの

- 01 **国民健康保険特別会計 40億8,822万円**
- 02 **後期高齢者医療保険特別会計 6億3,257万円**
- 03 **介護保険特別会計 37億 217万円**
- 04 **香南香美地区障害者自立支援審査会特別会計 99万円**

企業会計

使用料などの収益で支出を賄っているもの

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業会計	6億1,356万円	5億6,822万円	4億8,534万円	7億8,888万円
農業集落排水事業会計	2億7,995万円	2億7,995万円	2億7,825万円	2億9,333万円
公共下水道事業会計	6億8,643万円	6億8,643万円	6億 500万円	7億3,488万円

※収益的収支…水道水を家庭へ届けるための費用や下水を処理するための費用に関する収支（水道料金・水質管理費など）
※資本的収支…上下水道施設の建設・改良などに関する収支

令和6年度 予算

予算総額 **297億3,134万円**
(一般会計 + 特別会計)

前年度比 **12億3,070万円 減**

市の仕事は広範囲にわたるため、事業の目的ごとに予算を、一般会計・特別会計・企業会計に分けています。一般会計と特別会計の予算は歳入と歳出が同額となるよう編成されています。

■ 企画財政課 ☎57-8502

一般会計 213億739万円 福祉や教育、道路・公共施設等の整備など市の基本的な事業を行うためのもの



市はどんなことに
お金を使う予定？

- **普通建設事業費：19億218万円減**
大型建設事業が減少したことにより前年度に比べ減額
- **人件費：3億2,046万円増**
昨年的人事院勧告による給与のベースアップや会計年度任用職員の勤勉手当の制度化による増などにより増額
- **扶助費：1億9,598万円増**
医療などに係る扶助費の増により増額

人件費	48億6,171万円 (22.8%)	職員(会計年度任用職員を含む)の給料や議員報酬など
補助費等	35億1,678万円 (16.5%)	一部事務組合や企業会計、各種団体への負担金・補助金など
普通建設事業費	33億9,498万円 (16.0%)	道路や建物などの整備・建設にかかる経費
物件費	32億5,866万円 (15.3%)	備品購入費、公共施設の維持管理委託料や光熱水費など
扶助費	27億8,145万円 (13.1%)	生活保護費や医療費、児童手当など
公債費	16億4,439万円 (7.7%)	市債(借金)を返済するための経費
繰出金	12億 489万円 (5.6%)	特別会計へ支出する経費
積立金	4億5,220万円 (2.1%)	基金(貯金)へ積み立てをするもの
維持補修費等	1億8,483万円 (0.9%)	施設などの維持補修にかかる経費や、貸付金・予備費など
災害復旧事業費	750万円 (0.0%)	災害の復旧にかかる経費

■ 義務的経費：43.6% ■ 投資的経費：16.0% ■ その他の経費：40.4%